東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

Vol.44　第2174回例会　2011.7.7

今年度会長テーマ　和の心　自然に学びて未来を創ろう

■司会：
石山例会運営委員長

■点鐘：小町会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」
◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
野澤パスト会長

◆ゲスト：東村山国際友好協会
会　　長　岩瀬由明　様
前　会　長　大野　茂　様
◆ゲスト：米山奨学生　朴 動 浩　様

◆ビジター：東京東大和ロータリークラブ
本荘　修　様

■会長継承式：
山本直前会長から
小町会長へ

■幹事継承式：
中丸直前幹事から
野村(高)幹事へ

■多摩分区地区役員委嘱状伝達：
◆地区オン・ツー・バンコク委員会
山本会員

■会長報告　小町会長

皆様今日は、いよいよ来たなという感じです。2011-2012年度会長を仰せつかって7月7日七夕の日に初めての例会を迎えるということで非常に緊張しています。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／赤木 盛一　樋口 剛史
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

又、七夕という日にお会いできることを非常に嬉しいと思う反面、この一年間をどう乗り越えていこうかとも思っています。
この後一年間の抱負を述べさせていただきますが、今一番大きな問題として震災の募金について、日本人として忘れてはいけないような形の教訓が残ると思うのですが、それを心の中に受け止めてこれから進んで行きたいと思っています。
本日は私の先輩であります東村山国際友好協会第七代会長にご就任なされました岩瀬様有難うございます。
昨日東大和ロータリークラブを訪問致しました時大変お世話になりました本荘会員大変有難うございます。
そして、東村山国際友好協会の前会長大野様長い間大変ご苦労さまでした。それでは一年間宜しくお願い致します。

■幹事報告　野村(高)幹事

■ガバナー事務所：
「委嘱状」の受理について
2011-12年度国際ロータリー第2580地区
地区米山奨学委員会　委員 野崎一重会員
地区オン・ツー・バンコク委員会 委員 山本智治会員

■国際奉仕委員会、オン・ツー・バンコク委員会：
ＲＩバンコク国際大会参加アンケートの受理について
〆切　7月20日(水)

■Ｒ財団委員会：
「日本震災復興プロジェクトについてのお伺い」について
プロジェクトの考え方、推進方法等回答のある場合のみ
〆切　7月15日(金)

■バギオ基金：
バギオ基金創立30周年記念祝賀会の案内の受理
2011年9月9日(金)　18:00～
於　ホテルニューオータニ

■(財)ロータリー米山記念奨学会：
2011年度上期普通寄付のお願いについて
7月1日現在の会員数にて納入
(参考：毎年￥2500×会員数(32)＝￥80000)

■国際ロータリー：
2011-12年度上半期報告書の受理

■東村山市社会福祉協議会：
平成23年度東村山市社会福祉協議会会費納入のお願いについて
(20,000円の会費　参考：毎年の会費額)

■回覧：ガバナー月信　7月号No.1
バギオだより
所沢中央ＲＣ

■出席報告　野村(裕)例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
32	27	0	3	90.00

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：90.00%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都ＲＣ
北久保会員：清瀬ＲＣ
熊木会員：清瀬ＲＣ
中條会員：所沢ＲＣ
當麻会員：東京東大和ＲＣ
戸澤会員：武蔵野ＲＣ
山宮会員：立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　赤木クラブ管理委員長

■皆出席：
野澤会員(16回目)
嶋田会員(4回目)

■令夫人誕生祝月：
隅屋会員、赤木会員
樺澤会員、村田会員

■賛助金贈呈：
東村山市国際友好協会
会長　岩瀬 由明 様

■奨学金贈呈：
米山奨学会　朴動浩

◆細　渕　様：山本会長、中丸幹事、ご苦労様でした。小町会長、野村幹事、ご期待しております。よろしくお願い致します。
◆小町会長、野村幹事：今年一年間皆様宜しくお願い致します。
◆山本会員：1年間会長として皆様に大変お世話になりありがとうございました。本日より、小町会長、野村幹事の船出です。メンバー全員で応援しましょう。
◆中丸会員：会員の皆様、前会長、一年間ありがとうございました。小町会長、野村幹事一年間よろしくお願い致します。
◆樺澤会員：小町会長さん、野村幹事さん、一年間楽しくご健勝でご指導下さい。小町会長さんは私の入会時のお師匠さんでした。
◆神﨑会員：七夕の第一例会、小町会長、野村幹事大変期待しております。楽しいワクワクする例会を会員全員でアイデアを提供しましょう。山本会長、中丸幹事、ご苦労様でした。
◆嶋田会員：小町会長、野村幹事、一年間よろしくお願い致します。
◆金子会員：小町会長、野村幹事、一年間ご苦労様ですが、平常心で実りある45周年を迎えられるようにしましょう。
◆戸澤会員：小町会長、野村幹事、一年間よろしくお願いします。又、この度は小町会長さんの設計で相羽さんに自宅を建て替えてもらう事になりました。
◆當麻会員：小町会長、野村幹事、一年間頑張ってください。本荘様ようこそいらっしゃいました。
◆本　荘　様：みなさんいつもお世話になっております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。
◆田中会員：東大和ＲＣ本荘パスト会長様ようこそおいで下さいました。小町会長、野村幹事様、健康に留意され輝かしい一年となりますことをお祈りします。期待しています。
◆五十嵐会員：小町会長、野村幹事、お身体に気をつけて一年間頑張って下さい。
◆野澤会員：小町会長、野村幹事、45年の記念すべき年にご苦労もありますが楽しい一年にしましょう。また、私の大の親友の岩瀬さん、国際友好協会会長ご就任おめでとうございます。頑張って下さい。
◆漆原会員：山本前会長、中丸前幹事、一年間ご苦労様でした。小町会長、野村幹事、一年間宜しくお願いします。頑張って下さいね!
◆村田会員：小町会長、野村幹事、一年間よろしくお願いします。本日は七夕です。会長、幹事の願いも届くと思います。
◆赤木会員：小町会長、野村幹事、一年間頑張って下さい。
◆目時会員：小町会長、野村幹事、一年間頑張って下さい。
◆北久保会員：山本会長、中丸幹事、ご苦労様でした。小町会長、野村幹事宜しくお願いします。
◆大　野　様：友好協会の新会長を紹介できたことに感謝します。
◆野村(裕)会員：新しい年度の例会出席をうれしく思います。新会長、新幹事の本年度の体制を支えさせて頂きます。
◆隅屋会員：本荘修さんようこそいらっしゃいました。
◆山宮会員：一年間よろしくお願いします。

本日のニコニコ合計：　105,000円
累　　計　：　105,000円

■ゲスト挨拶

■東村山市国際友好協会
会長　岩瀬 由明 様

皆様今日は、去る5月21日の総会で東村山国際友好協会の第七代目の会長に就任いたしました岩瀬でございます。協会33年の歴史の中で2年間を目途にと思っております。私は、ロータリークラブの組織、仕組みはよく判りませんが、私も東村山青年会議所の出身でございますので、本日当時の仲間の顔が見受けられ非常に勇気付けられます。
ロータリークラブのロータリー精神に基づき社会貢献をなされていることに心より敬意を表するものです。私達東村山国際友好協会も33年の歴史を持ち、米国ミズーリ州インディペンデンス市との学生交流、5年置きの大人の交流を通じて社会貢献を行っているものと思います。
東京東村山ロータリークラブ様には賛助会員として会費を頂戴しており大変有難うございます。今後も国際友好協会の運動に、深いご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

■委員長報告

■當麻職業奉仕委員長

職業奉仕12カ条を毎月一つずつ唱和していきたいと思います。よろしくお願い致します。

■樺澤会員研修委員

「ロータリーの友」の新年度第1号となる7月号について、ご紹介申し上げます。カルヤン・バネルジーＲＩ会長メッセージは、「家族、継続、変化」と題して、本年度はまず自分自身を見つめ直すこと、すなわち「こころの中を見つめよう、博愛を広げるため」のテーマを実践して戴きたいというのが、ロータリアンの皆様へのお願いですと述べられておられます。そして、「全てが家族から始まる」として、今年度の第一の強調事項は「家族」で、家族と家庭が活動の核となり、奉仕活動は全てここから始まります。第二の強調事項は「継続」で、得意とすることを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことですと述べられ、最大の責務はあと少しのところまできたポリオ・プラスです。
「友情と親善を分かち合い、倫理的に誠実に」として、第三の強調事項は「変化」ですとし、「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」。平和、調和、友情、私たちは変化を、そして、されに喜びのある世界を築いていくことでしょう、と結ばれています。
次は、会長に見る知性と心意気と題して新ＲＩ会長紹介があります。インド出身の三人目のＲＩ会長だそうで、毎朝ヨガをされているそうです。昨年のモントリオールの国際大会での指名受諾演説では、「インドが発展途上国であり、ロータリーの国際奉仕に違った考え方を持ち、識字、保健、飢餓、安全な水に取り組む単純なプロジェクトが大きな影響力を見てきました。活動を通じて、一つの村、一つの家庭、そして一人の人生といったように、少しずつ変化の輪が広がるのです。」と紹介されています。さらに、「こころの中を見つめよう博愛を広げるために」のテーマについて説明されています。ＲＩ理事会メンバー紹介に、ＲＩ会長エレクトの田中作次さんが紹介されています。ガバナーの横顔として、水野ガバナーのお人柄が紹介されています。また、ＲＩ理事メッセージとして近藤雅臣様が、新年度はカルヤン・バネルジーＲＩ会長は、たくましいカウボーイと違い、東洋的な心を持ち、深く自らを省みることの必要性を論じる人格者であり、日本人にとって共感できる人であります、と紹介されています。
さらに、「心は共に」と東日本大震災に対するロータリー、多岐に渡る活動が紹介され、義援金だけではなく、心温まる多くの活動が紹介されております。
エバンスト便りには、国際大会カウントダウンとして、バンコクの寺院が紹介されています。
縦書きのページには、人間国宝の野村萬様が、「世界に誇る日本の伝統文化」の中で、室町時代に能を大成した世阿弥の有名な、「初心忘れるべからず」などを紹介され、狂言の修行の過程を言う言葉に「猿に始まって狐に終る」について、狐が集中で、猿は開放といわれ、猿はあめをしゃぶらせて教えればよく、狐は鞭にならなければならないと説明されていますが、皆さまはどちらでしょうか。

■クラブ協議会

■司会：野村(高)幹事

■小町会長

これまで築きあげて頂きました諸先輩、会員に感謝申し上げます。本年度ロータリーの基本でありますクラブ活動を重点に進めていきたいと思います。
本年度カルヤン・バネルジーＲＩ会長のテーマ、「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」をかかげ奉仕は自ら心から喜んで活動するものである。水野ガバナーは地区ビジョン「簡素にして充実」を掲げ、会員減少の中、時間的、金銭的な見直しをして充実したクラブライフを構築し、楽しい例会、ユニークな活動を進めてください。栗原ガバナー補佐は多摩分区ビジョン「エンジョイロータリー」を掲げ楽しいクラブ運営を謳っています。
クラブテーマ「和の心　自然に学びて未来を創ろう」とさせていただきます。
アメリカで誕生し日本においても育ったロータリークラブ、我東京東村山ロータリークラブも1967年2月23日立川ロータリークラブのスポンサーにより創立以来44年間にわたり多くのロータリアンが様々な形で「和」の精神を大切にして育んできたお陰で今日のロータリークラブがあります。
45年の節目にあたり未来に向けて輝かしい歴史を刻んでいくためにも家族を始め仲間、地域、自然との和を大切にして会員一丸となって運営していこう思います。
特に今年3月の東日本震災は日本人はもちろん世界に多くの課題を投げかけています。司馬遼太郎の言葉をかりれば昔も今も、また未来においても変わらぬことがある。そこに空気と水、それに土などの自然があって、人間や他の動植物、さらに微生物にいたるまでが、それに依存しつつ生きているということである。自然こそ不変の価値なのである。なぜならば、人間は空気を吸うことなく生きる事は出来ないし、水分を採ることがなければ乾いて死んでしまう。人間は自然によって生かされてきた。古代でも中世でも自然こそ神々であるとした。このことはすこしも誤っていないのである。
「人間は、自分で生きているのではなく、大きな存在によって生かされている」生活の中で知恵を出し、ものを創りだし、文化を創ってきた日本人の精神はロータリアンに通じるものです。真摯に選ばれた業のリーダーであるロータリアンが仲間として貴重なノウハウを提供し合い心強い助言者として親睦を深め奉仕を実践していけると確信しています。ロータリアンだからできるのです。

活動方針
1.家族、仲間を大切にこころにゆとりをもとう。
2.ロータリーを楽しもう。
　(炉辺会合、家族親睦夜間例会の充実)
3.未来に向けて今できる奉仕をしよう。
4.地域社会を支えていく若者にエールを贈る周年事業の企画をする。
5.クラブの職業奉仕に必要な会員増強により40名クラブを目指す。
6.ＦＲＣ事業で地域のつながりを生かした企画で親睦と奉仕を確立する。

誰一人欠けてもならない我ロータリアン。絆を大切にし楽しいクラブ運営に力を入れていきます。

■野村幹事

新年度開始にあたって

「家族・仲間」を中心として、ロータリーライフを楽しもうという会長方針に従い、明るく充実したクラブ活動が送れるよう心がけ、常にクラブテーマを意識し、円滑に活動してもらう為の諸情報を適切な状況で各委員会・会員に伝えて行きたいと考えています。今の世の中膨大な情報が、我々の周囲に氾濫しています。必要な情報のみを収集し、あらゆる場面で、水野ガバナーが提唱する地区ビジョン「簡素にして充実」も追及しつつ会長の補佐をし、諸行事に支障をきたさないように1年間務めたいと存じます。
まず第1に会員の増強を早期に達成できるよう会員から発信される情報に対し、広くアンテナを張り、増強委員長と連携して、会員獲得に力を注ぎたいと思います。
そして45周年・ＦＲＣと言う節目の年度にあたり、記録に残るよりも、記憶に残る諸活動が出来るよう頑張りますので、皆様ご協力の程宜しくお願い申し上げます。
折角多くの緒先輩と一緒に過ごせる時間がいただけたのですから、大いに語り合いご自身の成長の材料にする事が出来たら、こんな良いことはありません。例会場での着席位置なども意識して変えてみたら如何でしょう。毎回同じ顔ぶれを見ていても新鮮さを感じなくなりませんか。他のクラブは着席に関して工夫をしています。
今年から、第五奉仕部門として新世代奉仕委員会が新たに設立され、クラブ内の環境も少しずつ変化しています。3月11日に起きた東日本大震災の義援金の使途は、親を亡くした子供たちへの将来の災害遺児奨学制度として、5年間をめどに運用されようとしています。これとは別に、次世代を担う人物をいかにロータリーから排出するかと言った議論が起きてくると思われます。そんな時、交換留学生を経験した人材を如何に育てるかと言ったテーマも出てくるでしょう。世界の架け橋となる人材が数多く育っています。もちろん東村山地区の青少年に対しても同じように接していく必要があります。会長方針にある3番・4番です。我々会員は、自分達で納得するのではなく、周囲の人々から認めてもらえるような活動を意識して、実行する必要があると感じます。そのためには、多くの会員の知恵を借り、集約し外部にアピールできないものかと切実に感じます。
今年のＲＩ会長のカルヤン・バネルジー氏の掲げるテーマは「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために」となっています。「まず自分自身を見つめなおすこと」とあります。そして、第一の協調事項は「家族」であり、会長方針の1番に共通します。第二は「継続」となっていて、俗に言う「継続は力なり」です。意義のある奉仕活動は発展的に継続することが求められます。第三の協調事項は、「変化」となっていて、自分の中にこそ変化を起すことの必要性を認識することだそうです。
年度の開始に当たって、クラブ運営に大事な指針として、会長方針・ガバナーによる地区ビジョン・そして、ＲＩ会長の2011～2012年度テーマをそれぞれお話しました。複雑なようで、最終的にはなんとなく小町会長の話を含めて流れをご理解いただけたと思います。
これから1年間我々が選んだ素晴らしい会長と笑顔を絶やさずに無事務めることが出来ますよう皆様のご協力とご指導ご鞭撻を再度お願い申し上げます。

■第1回(7月度)理事・役員会

2011年7月6日(水)　　於　たきび 18:30～

■6月の収支明細報告について
赤木会計より報告があり、報告の通り承認された。

■2010～2011年度決算報告
赤木会計より報告があり、報告の通り承認された。

■2011～2012年度予算案
金子新会計より報告があり、報告の通り承認された。

■特別会費について
①水野ガバナーより東日本復興支援義援金として会員一人当たり1万円
②その他新規発生義援金として例年通り会員一人当たり5,000円
よって、前期会費納入額は135,000円とし、1万円は集金袋にて対応することとした。

■クラブ細則改訂について
當麻、樺澤細則検討委員よりクラブ細則改正について報告があり承認された。

■2011～2012年度例会プログラム変更について
8月11日(木)→休会(お盆休み 定款第6条第1節Ｃ項)
18日(木)→20日(土)家族親睦例会に変更
10月13日(木)→12日(水)多摩分区ＩＭに変更
11月24日(木)→ＦＲＣへ変更(案)
12月15日(木)→17日(土)クリスマス親睦例会に変更
29日(木)→休会(年末休み定款第6条第1節Ｃ項)
2012年
2月16日(木)→22日(水)地区大会に変更
3月15日(木)→休会(第5週目 定款第6条第1節Ｃ項)
以上が承認された。

■7．その他
・東村山消防署より依頼の萩山駅用横断幕作成
・東村山国際友好協会より賛助金(3万円)
・東村山市社会福祉協議会への会費(2万円)
・事務所用シュレッダー購入(1.5万円)
以上が承認された。

■点鐘：小町会長